

まん延防止等重点措置及び緊急事態措置について（令和4年1月15日時点）

主な内容	まん延防止等重点措置	緊急事態措置
発出の考え方	<ul style="list-style-type: none"> レベル3相当の対策が必要な地域 レベル2相当の対策が必要な地域で、都道府県の特定区域において感染が急速に拡大し、都道府県全域に感染拡大するおそれがある レベル2相当の対策が必要な地域で、感染が減少傾向であっても、再拡大を防止する必要性が高い 都道府県全域に感染が拡大するおそれがあり、医療提供体制、公衆衛生体制に支障が生ずるおそれがある 	<ul style="list-style-type: none"> レベル3相当の対策が必要な地域 全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある
飲食店への要請	<p>① 21時までの営業時間短縮（酒類提供は20時まで）※2.5万円/日～</p> <p>② 20時までの営業時間短縮（酒類提供禁止）※3万円/日～</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証店は①・②のどちらかを選択、カラオケ設備提供可 非認証店には②を要請、カラオケ設備提供不可 知事の判断により認証店に対し時短要請をしないことも可 知事の判断により認証店に対し酒類提供自粛要請も可 同一グループ同一テーブル4人以内 	<p>① 休業要請（酒類・カラオケ設備を提供する飲食店）※3万円/日～</p> <p>② 20時までの営業時間短縮（酒類・カラオケ設備提供禁止）※3万円/日～</p> <p>③ 21時までの営業時間短縮（酒類提供は20時まで）※2.5万円/日～</p> <ul style="list-style-type: none"> 知事の判断により認証店に対し③を要請することも可（カラオケはワクチン検査パッケージ利用で収容率50%で営業可能） 同一グループ同一テーブル4人以内
イベントの開催規模要件	<ul style="list-style-type: none"> 上限5,000人、収容率50%（大声あり）・100%（大声なし） ただし、感染防止安全計画策定の場合20,000人、収容率100% 	<ul style="list-style-type: none"> 上限5,000人、収容率50%（大声あり）・100%（大声なし） ただし、感染防止安全計画策定の場合10,000人、収容率100%
外出・移動	<ul style="list-style-type: none"> 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出移動の自粛及び感染対策が徹底されていない飲食店等の利用自粛への協力要請 不要不急の都道府県間の移動は極力控えるよう促す 	<ul style="list-style-type: none"> 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出移動の自粛及び感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を厳に控えることを徹底 不要不急の都道府県間の移動は極力控えるよう促す

沖縄県警戒レベル判断指標の見直し

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部

12月16日決定
(12月17日適用)

1

新たなレベル分類の考え方

現在の県警戒レベル判断指標は第1波後、その後の感染拡大に備えて策定されたものであり、医療提供体制の強化や治療薬の開発、ワクチン接種の進捗などが考慮されておらず、感染状況や医療提供体制の状況等を評価するためには新たな考え方が求められる。

令和3年11月19日に国基本的対処方針が改訂され、分科会提言「新たなレベル分類の考え方」が示された。同提言により「各都道府県は、各地域の感染の状況や医療ひっ迫の状況を評価し、必要な対策を遅滞なく講じる」とし、レベルを5つに分類することとされている。各レベルで必要な対策を機動的に講じるタイミングについては、各都道府県が“予測ツール”(8ページ参照)及び、これまで用いてきた様々な指標の双方を用いて総合的に判断する必要がある。

上記を踏まえ、沖縄県における新たなレベル分類を設定するため、従来の県警戒レベル判断指標を改め、次の3項目とする。

- ①人口10万人当たりの新規陽性者数
- ②病床使用率(国基準)
- ③重症病床使用率(国基準)

また、参考指標として、次の7項目を総合的に確認していくこととする。

- ①重症病床使用率(県基準)
- ②療養者数
- ③感染経路不明割合
- ④PCR陽性率
- ⑤入院率
- ⑥前週比
- ⑦予測ツール

上記の判断指標及び参考指標の動向を確認し、他の情報を踏まえて、県警戒レベルを総合的に判断する。

※指標を3項目に限定した理由について
今回の5つのレベル分類の考え方において、感染の状況を引き続き注視しつつも、より医療ひっ迫の状況に重点を置いたものとされていることから
・ワクチン接種の進捗や治療薬の開発により、重要度が比較的低下した指標(療養者数など)
・判断の参考とならなくなった指標(重症化率)
等は、参考指標とするか、外すなどした。
また、レベルに合わせた措置実施等を鑑み、分かりやすさも重視し判断指標を限定することとした。

2

レベル新指標

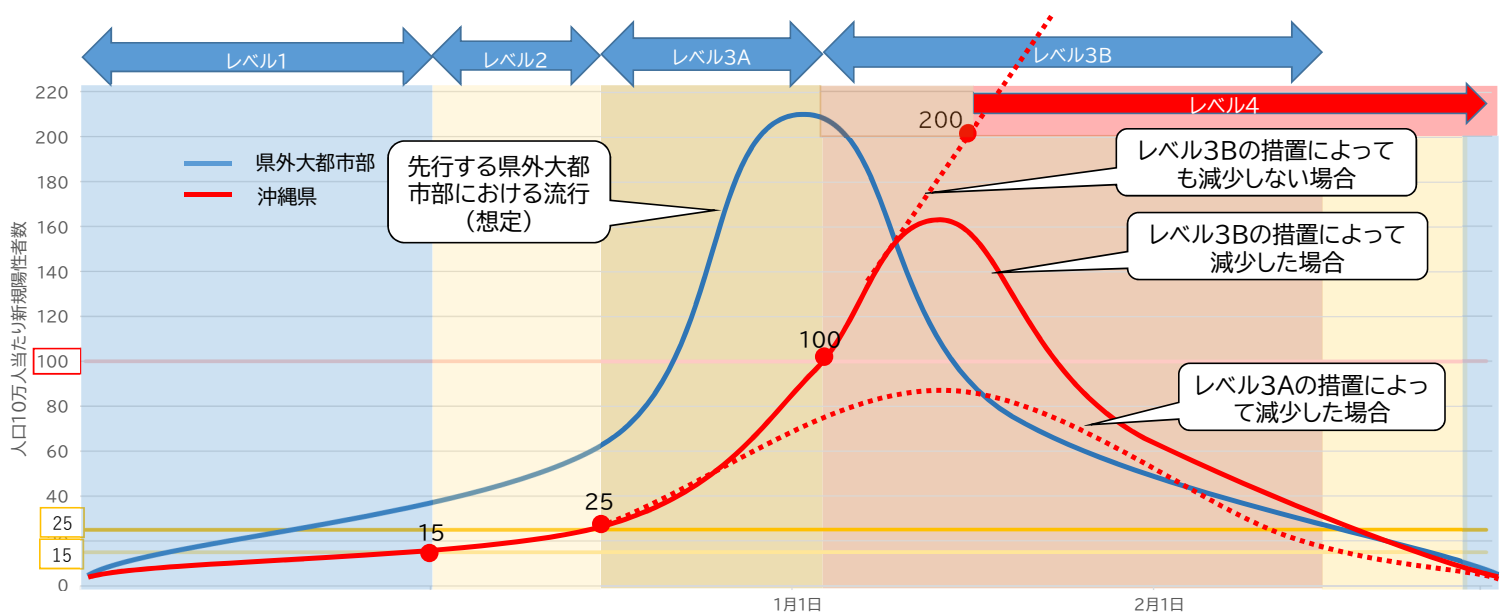
		ゼロ期	流行注意期	感染流行期	感染まん延期		非常事態
警戒レベル		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
判断指標①	新規陽性者数 ※人口10万人あたり	0人が継続	人口10万人あたりの15人未満(1日平均32人未満)	人口10万人あたり15人以上(1日平均32人以上)	人口10万人あたり25人以上(1日平均53人以上)	人口10万人あたり100人以上(1日平均213人以上)	人口10万人あたり200人以上(1日平均425人以上)
判断指標②	病床使用率(国基準)	—	—	20%超 (※現時点最大641床の20%)	50%超 (※現時点最大641床の50%)		—
判断指標③	重症病床使用率(国基準)	—	—	20%超 (※現時点最大60床の20%)	50%超 (※現時点最大60床の50%)		—
参考①	重症病床使用率(県基準)	医療提供体制のひっ迫度合いを直接的に把握するため、今後も参考指標として確認する。 また、重症病床占有率(県基準)が70%超の時、医療ひっ迫の度合いはレベル4相当の状況と考えられる。					
参考②	療養者数	医療提供体制や保健所のひっ迫状況を表す数値のひとつであるため、今後も参考指標として確認する。					
参考③	感染経路不明割合	感染状況や調査状況を表す数値のひとつであるため、今後も参考指標として確認する。					
参考④	PCR陽性率	感染状況や検査体制を表す数値のひとつであるため、今後も参考指標として確認する。					
参考⑤	入院率	医療提供体制のひっ迫状況を表す数値のひとつであるため、今後も参考指標として確認する。					
参考⑥	前週比	新規陽性者数の増加速度や減少速度を表し、将来の感染状況の予測に使用するため、参考指標として確認する。 前週比1.3倍以上の時、警戒を要する。※新規陽性者数が低い水準の時には、前週比が大きな値になることが想定されるため、基準は設定せず、参考指標とする。					
参考⑦	予測ツール	3週間後に必要とされる病床数が確保病床に達する場合、警戒を要する。 ※予測ツールで予測される3週間後の病床は、前週比により大きく算出結果が変動するため、基準は設定せず、参考指標とする。					

3

レベル推移のイメージ

第6波を想定した新規陽性者の増減によるレベル推移のイメージ

※実際のレベル推移については、その他の判断指標等も用いて総合的に判断する。



※ レベル2であっても、「注意報対象地域」などの特定の区域において、感染が急速に拡大し、全域に感染が拡大するおそれがあるときは、まん延防止等重点措置を要請するなどレベル3相当の措置を行う。

4

新たなレベル毎の対策について							
		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
	県が講じる措置について	—	—	感染防止の呼び掛け～県独自措置検討・実施 ※ レベル2であっても、「注意報対象地域」などの特定の区域において、感染が急速に拡大し、全域に感染が拡大するおそれがあるときは、まん延防止等重点措置を要請するなどレベル3相当の措置を行う。	県独自措置の実施～まん延防止等重点措置区域の指定を国に要請	まん延防止等重点措置の実施～緊急事態措置区域の指定を国に要請	より強い措置

○県の方針及び取り組み

- ▶ 感染の拡大がみられた場合以下の通り取り組む。

 - ① 感染拡大の兆候が確認された場合、各市又は保健所単位で「注意報」を迅速に発信し、**「注意報対象地域」とし必要な措置を要請する。**
 (目安:市・保健所単位人口10万人あたり25人超(週))
 - ② 全県的な感染拡大の兆候が確認された場合、全県へ「注意報」を迅速に発信
 (目安:全県10万人あたり15人超(週)(1日平均新規陽性者数32人超))
 - ③ 急拡大の恐れがあるときに、強い措置を講じる
 (目安:全県10万人あたり25人超(週)(1日平均新規陽性者数53人超) かつ前週比1.3倍超)

新たなレベル毎の対策について(概要版)							
		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
1	外出	基本的な感染防止対策		混雑している場所を回避 不要不急の外出自粛 営業時間短縮要請以降の時間の飲食店にみだりに出入りしない			より強い措置
2	離島往来			来島自粛を求めている離島との往来自粛 不要不急の往来自粛 渡航に係るワクチン・検査パッケージの徹底			
3	県外への往来	・基本的な感染防止対策 ・体調不良時には往来を中止または延期		感染拡大地域との往来自粛 不要不急の往来自粛 渡航に係るワクチン・検査パッケージの徹底			
4	県外からの来訪			居住地の知事が求める都道府県間移動に関する要請に従うこと 渡航に係るワクチン・検査パッケージの徹底			
5	家庭		・基本的な感染防止対策 ・高齢者と会う際のマスク着用	親族間交流等により同居家族以外の者同士の集まりを避ける			
6	職場	基本的な感染防止対策		リモートワーク、時差出勤等により接触機会を低減			
7	飲食店	・基本的な感染防止対策 ・業種別ガイドラインの遵守		独自措置による時短要請 まん延防止等重点措置による時短要請 緊急事態措置による要請 大人数会食に係るワクチン・検査パッケージの徹底			
8	イベント	・基本的な感染防止対策 ・国通知に基づく要件で開催		5,000人超のイベントのチケット販売は慎重に			
9	公共施設	基本的な感染防止対策		営業時間短縮や一部休止等を検討			
10	福祉施設	・基本的な感染防止対策 ・検査体制拡充によるクラスター防止		感染防止対策を徹底して事業継続			
11	学校	基本的な感染防止対策		時差登校 分散登校 感染状況に応じ、オンライン学習、学級閉鎖等			